

がん経験者が講演

メデイカルカフェ4周年 宇都宮

【宇都宮】がんをはじめとする病気の悩みを気軽に相談できる「まちなかメデイカルカフェin宇都宮」の4周年記念講演会が23日、江野町の「下野新聞NEWS CAFE(ニュースカフェ)」で行われた。

乳がんを経験している読売新聞東京本社医療ネットワーク事務局次長の本田麻由美さん(49)が自らの体験や医療の在り方などを語り、参加した約80人が耳を傾けた。

メデイカルカフェは2013年4月に県内の医療、介護関係者らでつくる「がんカフェとちぎ」(平林かおる代表)が始めた。二

ユースカフェで毎月開いており、4年間で延べ約900人の患者や家族たちが相談に訪れているという。本田さんは記者として多



「人と私」と題して講演する本田さん

忙な日々を過ごしていた02年に乳がんと診断された。「治るのか治らないのか、自分はどうなるのか、医療の不確実性の中で生きることが不安だった」と話し、「独りではなく、体験を語り合うことが救いになった」と患者同士のつながりの大切さを強調した。

参加者で乳がんを患っているという市内の女性(58)は「具体的な体験は参考になった。患者同士の交流の大切さを感じた」。別の女性(43)は「前向きに活動していて強く見える方でも不安な気持ちは変わらないということを知り、ありがたかった」と話していた。(小池竜太)